

2012年1月31日

LG Electronics, Inc.

株式会社日立プラントテクノロジー

LG 電子と日立プラントテクノロジーの水事業合弁会社 「LG-Hitachi Water Solutions」が発足

LG Electronics, Inc.(本社:大韓民国(以下、韓国)ソウル市、Vice Chairman & CEO: Bon-Joon Koo/以下、LG 電子)と、株式会社日立プラントテクノロジー(本社:東京都豊島区、取締役社長:東原 敏昭/以下、日立プラントテクノロジー)は、2011年7月の合弁契約締結を受けて設立準備を進めてきた水事業に関する合弁会社 LG-Hitachi Water Solutions Co., Ltd.(本社:韓国ソウル市、CEO: Young-Ha Lee/以下、LG-Hitachi Water Solutions)が2012年2月1日に発足することをお知らせします。出資比率はLG 電子が51%、日立プラントテクノロジーが49%で、LG 電子の President and Business Support Officer である Young-Ha Lee が CEO に就任しました。

今回の合弁会社設立は、株式会社日立製作所(本社:東京都千代田区、執行役社長:中西 宏明)と日立プラントテクノロジーの持つ水事業に関する高度な技術力・エンジニアリング力と豊富な経験・ノウハウを活用することで、世界的に市場拡大が見込まれる水事業への本格参入をめざすLG 電子と、LG 電子の韓国における営業力・チャネルを活用することで、水事業の受注拡大をめざし、かつLG 電子の持つ高度な標準化・大量生産技術の水処理機器・システムへの適用をめざす日立グループの意向が一致したものです。

LG-Hitachi Water Solutions では、主に韓国における各種工場の排水処理設備や上水・下水処理施設向けの機器の製造・販売をはじめ、システムの設計・調達・建設(EPC)*1、施設の運転・維持管理(O&M)*2、および水処理技術の研究開発を行います。また、将来的には、第三国における水事業に参画していくことも検討します。

世界の淡水資源は、地域偏在性が極めて高い上、絶対量も限られており、今後、人口増加、経済成長、地球温暖化、都市化、水環境の汚染などにより、世界的に水の需給が逼迫(ひっばく)し、水問題の顕在化が懸念されています。

今後、LG 電子と日立グループの両社の強みを融合することで、LG-Hitachi Water Solutions の事業拡大を図るとともに、水問題の解決に貢献していきます。

■LG-Hitachi Water Solutions の概要

会社名	LG-Hitachi Water Solutions Co., Ltd.
本社所在地	韓国ソウル市
事業内容	水処理機器の製造・販売、水処理システムの設計・調達・建設(EPC)、 水処理施設の運転・維持管理(O&M)、水処理技術の研究開発
代表者	CEO:Young-Ha Lee (LG 電子 President and Business Support Officer)
設立年月	2012 年 2 月 1 日
資本金	180 億ウォン(日本円換算:約 12 億円)*3
出資比率	LG 電子:51%、日立プラントテクノロジー:49%
従業員数	40 名(2012 年 2 月 1 日現在)

*1 EPC:Engineering, Procurement and Construction(設計・調達・建設)

*2 O&M:Operation and Maintenance(運転・維持管理)

*3 1ウォン=0.068 円として計算

以 上